

江崎 貴大

Esaki Takahiro

国税専門官 2016年採用

課税第一部 資料調査課

悪質な不正に挑む
任意調査の最強部隊

Question

1 現在の仕事内容について教えてください。

私が所属する国税局の課税第一部資料調査課(通称「リョウチョウ」)では、複雑困難かつ大口で悪質な不正が見込まれる個人事業主や相続人を対象に調査を行っています。

資料調査課は査察部門のように裁判所からの許可状を得て行う強制調査ではなく、納税者の同意の下で任意調査を実施しており、不正を見逃さない強い意志で悪質な納税者に立ち向かっています。



不正を見逃さない強い意志で悪質な納税者に立ち向かっています

Question

2 仕事上、印象に残っていることはありますか。

税務調査では、納税者に対して事前に日時や場所を連絡することなく着手することがあり、納税者から激しい抵抗を受けることもあります。それでも、悪質な納税者に屈することなく毅然とした態度で調査を行った結果、納税者が不正計算を認めたこともありました。

調査終了後に納税者から「これからは正しく申告をします。ありがとうございました。」と言われたときは、国税庁の使命である「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する。」ことを直に感じる事ができ、非常に大きな達成感に満たされました。



Question

3 仕事をする上で辛いと感じた経験はありますか。

また、どのように克服しましたか。

資料調査課に配属された当初は上司や先輩の仕事のスピードについて行くことができず、調査の現場から外されるという悔しい経験をしました。

しかし、ペアを組んでいた先輩は、私のそんな姿に気付いており、常にあらゆる事態を想定し、それに対応できる準備をすることが大切だと教えてくれました。周囲の先輩からもアドバイスをいただきながらですが、次第に仕事のスピードにも慣れ、自信が持てるようになりました。



Message

国税の職場は、法律改正や経済情勢などの変化に応じて、仕事内容も変化する専門性の高い職場です。しかしながら、研修制度が充実しており、また、上司や先輩の丁寧な指導もあり、スキルアップのために自己研さんしていく上でも恵まれた環境にあります。

組織としてワークライフバランスにも力を入れており、仕事にも家庭にも全力で打ち込める環境が整っている職場で、私たちと一緒に働きましょう。